

図書館員が行く!



～小諸市内で行われたイベント
を図書館職員が体験。内容を報
告します～

小諸市内には遺跡が数多くあり、それぞれの遺跡は教育委員会によって調査が行われています。その中で平成27年度から調査が始まった井子地区にある「寺ノ浦石器時代住居跡」での調査の様子を説明するために、一般の市民対象に現場見学会が行われました。

寺ノ浦石器時代住居跡は、縄文時代（約4000年ほど前）時代の集落が残る遺跡で、昭和5年に調査が行われ、昭和8年に市内で唯一、国指定の史跡に指定されました。東御市にも国の史跡・成立石器時代住居跡がありますが、時期も同じなので、関係のある集落だったのではとされています。調査の後、上屋が復元されたのですが、落雷で焼失し、現在は残っていません。



85年ぶりになる史跡内の調査では、3年に分けて行われる予定で、平成27年度は全体の5分の1程度の範囲を発掘しています。柄鏡型の縄文時代の住居跡や、骨角器（動物の骨で作ったもの）、土器や石器のかけらなどが発掘されています。今後、どのようなものが出土されるか興味深いです。(写真は地元井子区住民を対象に行われた現場説明会)

